

グループホーム 愛の里白寿荘

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↓ 取り組んでいきたい項目

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------|--|-------|--|
| ・理念に基づく運営 | | | |
| 1. 理念と共有 | | | |
| 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | | ・季節感あふれる環境の中、自然体で生きていくそんな「あたり前」の生活が実現できる場所でありたい 出会いを大切に少しずつ一緒に前進していけるように、「ここに来て良かったね ここに来たら元気になれたね」そう言っていただけるような家でありたい...との理念を目標に取り組んでいます。 |
| 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | | ・理念の実践に向けて日々話し合いながら取り組んでいる。 |
| 3 | 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | | ・理念やホームの方針を家族等に機会あるごとにお話するようにしている。又、地区の民生委員さん等を通じて地域の方に理解していただけるよう取り組んでいる。 |
| 2. 地域との支えあい | | | |
| 4 | 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | | ・地域柄、地域との交流は多くありませんが、地域の方が気軽に立ち寄って来れるような環境作りを目指している。 |
| 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | | ・近隣は、現在県営住宅の建設中で住民も少なく地域活動の参加は困難な状態である。併設のデイサービスや保育所を通じて、少しずつ地域との交流を実現できるよう取り組んでいる。 |

グループホーム 愛の里白寿荘

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|--|--|------|--|
| 6 | 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | ・出来る範囲で周辺の草刈など協力している。地域の高齢者の暮らしに直接役立つことまではできていませんが、合同運動会や行事に参加していただけるように今後ともできることから取り組んでいきたいと考えています。 | | ・地域の高齢者が気軽に立ち寄れる環境作りに取り組んでいる。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | |
| 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | ・外部評価について理解を深め、項目に沿ってできることから改善を行っている。又、外部評価をきっかけに問題解決に取り組んでいる。 | | ・今後とも外部評価を活かして、改善点を職員一同理解して取り組んでいきたい。 |
| 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | ・運営推進会議では、現状報告を常に行っている。その都度の取り組みや生活状況をホーム便り・写真にて報告を行っている。取り組みについての意見や要望をサービスの向上に活かしている。 | | 今後も運営推進会議にて、現状報告を適切に行ない、意見・要望を取り入れ、向上していきたい。 |
| 9 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | ・市町村担当者と電話や市役所に訪問する等して交流をもっている。グループホームに訪問していただくこともあり、介護保険や法令について相談援助を受けている。 | | ・市町村担当者と今後も連携をとっていく。 |
| 10 | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | ・市役所の保護課の担当者に相談するなど行っているが、直接活用する事例が現在のところなく、詳細については今後学んでいきたい。 | | ・相談時、適切な説明ができるよう、勉強していきたい。 |
| 11 | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている | ・関連資料を回覧したり、援助についてどのように行われているか細かく報告・連絡・相談を行ない、虐待が見逃されることのないよう配慮している。 | | ・現状把握に注意を払い、今後も虐待防止を徹底する。 |

グループホーム 愛の里白寿荘

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|--|---|---|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | |
| 12 | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>・何度も質問・説明を行ない、ご利用者・家族の方の要望・不安を把握できるよう努めている。今までの入居の際、聞き取りが不十分だったことで、反省する点も多く、毎回説明・確認事項の見直しを行っている。</p> | <p>・訪問された時や電話の際など、現状の不安・要望が適切に把握できるよう、対応技術が向上していけるよう取り組んでいく。</p> |
| 13 | <p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>・ご利用者の不満・苦情があれば、ご利用者・管理者・職員で話し合いをもち、解決できるよう取り組んでいる。要望や意見を定期的に聞き取りするよう心掛け、意見が聞けるよう配慮している。</p> | <p>・ご利用者、ご家族の本当の要望やお気持ちを聞けるような機会を今後も持てるようにしていく。</p> |
| 14 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | <p>・グループホーム便りや写真にて活動や生活状況を報告している。預り金の状況は毎月残高を郵送にて報告している。訪問の際、預り金出納帳を確認し、捺印をいただいている。現金の取り扱いは職員2人で確認するようにしている。健康状態に変化があれば、電話にて報告して、必要な場合は訪問していただいている。</p> | <p>・状況把握は今後もこまめに行ない、ご利用者の生活をご家族に把握していただきたい。</p> |
| 15 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>・意見や苦情などを言いやすいように働きかけているが、訪問されないご家族等もいて完全には困難な点もありますが、電話連絡などで確認をするようにしている。意見があれば、管理者・職員で話し合い、解決できるよう取り組んでいる。</p> | <p>・ご家族の意見・要望・不安点等を見逃さないよう、連絡・報告・相談を今後も徹底していく。</p> |
| 16 | <p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | <p>・運営に関することは、出来る限り報告を行い全ての職員の意見に傾聴し話し合いがもてるよう工夫している。何事も同じ思いで取り組んでいけるよう意思の疎通を図るよう努めている。</p> | <p>・全員で話し合いの機会はなかなか困難であり、的確な申し送りの徹底と出来るだけみんなで検討しあえる時間を作れるようにしていきたい。</p> |
| 17 | <p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> | <p>・申し送りは漏れのないよう注意している。話し合いを行うため勤務の調整に努めているが、全員揃っての話し合いは勤務体制上なかなか困難である。ご利用者に対する処遇が円滑に行われるように、年に2回、職員間で親睦・研修が出来るようご家族の協力を得て実現している。</p> | <p>・全員での会議・親睦は、同じ思いで介護に取り組んでいく上で、とても有意義であり、今後もご家族や入居者の方々の協力・理解を頂き継続していきたいと考えています。</p> |
| 18 | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>・ご利用者が安心して生活出来るよう、又、継続した援助が継続出来るよう配慮している。</p> | <p>・職員の目的・思いの共有を実現して、安定した援助が行われるよう取り組んでいく。</p> |

グループホーム 愛の里白寿荘

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------|---|---|------|--|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | |
| 19 | <p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。</p> | <p>・入居者の方が安心して生活して頂けるような方を採用するよう、心掛けている。</p> | | |
| 20 | <p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。</p> | <p>・入居者の方の人権を尊重するよう機会あるごとに話しをしている。</p> | | |
| 21 | <p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>・資格取得を希望している職員に対しては、研修の機会を提供している。法人内の研修については職員の段階に応じ話し合いの機会を設けている。</p> | | |
| 22 | <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>・筑豊地区グループホーム連絡会に加入し、他の事業所の方と交流を図っている。</p> | | |
| 23 | <p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p> | <p>・常に一人ひとりの状態を確認するよう心掛けている。定期的に職員間で食事会等を設け親睦を図り、悩みや相談があれば話し合い解決していけるようにしている。</p> | | <p>・交替勤務のため、今後も全職員で意思の疎通・理解を深める為にも今後も継続していきたい。</p> |

グループホーム 愛の里白寿荘

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|---|---|------|----------------------------------|
| 24 | 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | ・職員の得意分野が出来るだけ業務に活かされ、向上心が持てるよう配慮している。 | | |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | |
| 25 | 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | ・心身の状態、お気持ちを傾聴し、要望や不安なことを引き出せるよう配慮している。意思疎通が困難な方は状態把握に注意してご家族と相談し、思いを見逃さないよう努めている。 | | |
| 26 | 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | ・数回にわたり聞き取りを行い、ご家族の要望・お気持ちを把握するよう努めている。また、話しやすい雰囲気づくりを作り、信頼関係が速やかに出来ていくよう努めている。 | | |
| 27 | 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | ・現状把握を慎重に行い、適切な選択が出来るよう、情報提供に努めている。 | | |
| 28 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | ・状況に応じ、ご家族・職員や他の利用者の方が理解・協力を得て、何度か通って頂くなど安心して入居できるよう配慮している。入居者の方が納得して入居していただくことを前提に考えている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | |
| 29 | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | ・ご利用者の方が得意分野を相談したり、共に楽しめるよう接している。 | | |

グループホーム 愛の里白寿荘

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|---|--|------|--|
| 30 | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | ・援助方針はご家族と話し合い、現状把握を行い、お互いの気持ちが理解できるよう取り組んでいる。 | | |
| 31 | 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | ・グループホームでの生活は職員だけで支えていけるものではなく、家族の方も含めスクラムを組み、入居者の方が疎外感を感じることなく生活出来るようにと取り組んでいる。 | | その人らしく生活出来るように職員・ご家族と協力し合い、コミュニケーションを図りながら支援している。 |
| 32 | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | ・可能な限り、今まで馴染みだった方にグループホームに足を運んでもらい、関係が途切れないよう支援している。 | | |
| 33 | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | ・お一人ひとりの性格・状態・気持ちの配慮してご利用者同士が理解して支えあえるよう接している。又、成功例は情報を虚有してより良い接し方を常に追求している。 | | |
| 34 | 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | ・お元気になられ、退去された方がデイサービスの利用を希望して現在通っている。引き続き相談に応じている。 | | |
| . その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1. 一人ひとりの把握 | | | | |
| 35 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | ・可能な限り、暮らし方の希望を聞き取り、実現出来ることから取り組んでいる。 | | ・先日、意欲低下気味で何の関心もなかったご利用者が、ある日職員が持ってきた駒に興味を持ち、生き生きと何度も挑戦していました。今後ともいろいろな場面を提供して、ご利用者が興味を持つこと、楽しめることを発見していきたい。 |

グループホーム 愛の里白寿荘

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|--|--|------|--|
| 36 | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ・生活歴や今までの生活はほんの一部しか把握出来ないのが現状ですが、ご家族や可能な方はご本人から気長に聞き取りを行い把握していきたい。入居して3年たったご利用者にも新たな発見がいっぱいです。 | | ・いろいろな場面を提供する事で、今後ご利用者の生活歴・お気持ちを把握していけるようにしていく。 |
| 37 | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | ・一日の状態を職員間で申し送りを行い、全員で把握していきけるよう配慮している。 | | ・情報を共有する為にも今後も話し合いを行う。 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | |
| 38 | チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | ・介護計画の作成にあたっては、ご利用者・ご家族の意見を聞き、全職員の意見やアイデアを反映させるようにしている。 | | |
| 39 | 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | ・介護計画はモニタリングを行い、状態の変化があれば新たな計画を作成している。 | | |
| 40 | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | ・個別記録の記入を行っているが、話し合ったこと、検討したこと、改善したことの細かい記録がなかなか追いつかずにいる。情報の共有は充分に行っている。 | | ・多くの報告・検討を行っているが、全ての記録が追いついておらず、今後は出来るだけ、適切に記録していけるよう努力していきたい。 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | |
| 41 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | ・併設施設の専門職員に頻繁に相談して、改善に努力している。併設施設の行事の参加などで状態を把握してもらい、適切なアドバイスを得ている。 | | |

グループホーム 愛の里白寿荘

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------|---|--|------|----------------------------------|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | |
| 42 | 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | ・民生委員さん等とはご自宅に伺い相談にのって頂いている。 | | ・まだ不十分なところがある為、今後取り組んでいきたい。 |
| 43 | 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | ・地域の事業所や併設事業所のケアマネと話し合い、他のサービスを利用する為のアドバイスを行っている。 | | |
| 44 | 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | ・併設のケアマネを通じ、地域包括支援センターより、情報・指導を受けている。 | | |
| 45 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ・ご本人とご家族に受けた医療の説明、今後の治療方針を話し合い適切な医療を受けられるよう支援している。 | | |
| 46 | 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | ・近隣に気軽に相談に応じていただける病院がある。経過や対処方法についても相談にのって頂いている。 | | |
| 47 | 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | ・併設事業所の看護師と医療連携をしている看護師に日常の健康管理や状態の変化があったときの支援を受けている。また医療についての細かい相談も気軽に応じてくれている。 | | |

グループホーム 愛の里白寿荘

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|---|--|------|----------------------------------|
| 48 | <p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p> | <p>・病院と情報を交換して、適切な医療がうけられるよう支援している。入院設備がある病院のソーシャルワーカーにこまめに相談して、入院の際の援助をうけている。又、入院についてのあらかじめの相談を行っている。</p> | | |
| 49 | <p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p> | <p>・重度化した際のあり方についてご家族と話しをしている。医療が必要になった際の方針についてもご家族・主治医・ソーシャルワーカーと話し合いを行っている。</p> | | |
| 50 | <p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> | <p>・事業所のできること・できないことについては、入居時・入居後ご家族と話しをしている。ご家族やご本人さんの要望もふまえ、状況に応じた対応ができるよう準備している。</p> | | |
| 51 | <p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p> | <p>・施設への入所・病院での入院の際は、情報提供を行い、ご本人さん、ご家族の要望や思いが引き続き伝わるよう支援している。また、在宅への退去の際は、今後の介護サービスの利用について相談に応じている。</p> | | |
| <p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p> | | | | |
| 52 | <p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> | <p>・言葉かけや対応については、ご本人さんの身になって心をこめて接するよう心掛けています。記録や個人情報の取扱いは、気をつけて管理している。</p> | | |

グループホーム 愛の里白寿荘

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|---|--|------|----------------------------------|
| 53 | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | ・選択できる対応に心掛けており、意思の確認を言葉や表情で読みとれるよう努力している。 | | |
| 54 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ・その日その日の入居者の方の心身の状態により過ごし方を考えている。 | | |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | |
| 55 | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | ・洋服を自分で選んで頂いたり、身だしなみやおしゃれを楽しめるよう援助している。本人さんの要望により、定期的に行き付けの美容院に行けるよう支援している。ご自分で管理できない方は、ご家族と相談して定期的に美容院に行っている。 | | |
| 56 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | ・好みや自分の食べたいものを尋ね、メニューを考慮している。状態に応じ、食事の準備片づけを行えるよう支援している。 | | |
| 57 | 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | ・ご家族とも相談して希望がある方は、好みのものを購入している。 | | |
| 58 | 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | ・排泄リズムが把握出来るようにして排泄誘導を行い、オムツの使用が減るように支援している。 | | |

グループホーム 愛の里白寿荘

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|---|---|------|--|
| 59 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | ・入浴の回数もそれぞれ希望が異なる為、出来る範囲で要望に応じ対応している。又、入浴拒否をされる方には、声掛けやタイミングを考慮し入浴を促している。 | | |
| 60 | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | ・個々のだいたいの睡眠パターンを把握して気持ちよく眠りにつけるよう支援している。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | |
| 61 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | ・編み物やパズルなどやりたい事を見出し楽しんでいる。畑仕事が好きだった方は畑の世話や草取りを積極的に行っている。 | | ・楽しみや活動が出来る環境作りに取り組む。 |
| 62 | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ・管理能力に合わせて各自が金銭管理出来るよう、ご家族と相談して行っている。 | | |
| 63 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | ・食材の買い出しに一緒に出かけたり、昼間はデイサービスを希望するご利用者もいて出来るだけ希望に沿った支援を行っている。 | | |
| 64 | 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | ・行ってみたいが、自分で行けないという場所を利用者に聞き取り、出来るだけ希望に沿った場所に定期的に外出出来るよう支援している。 | | ・先日も平尾台に出掛けた際、「昔出来た事があり、とても懐かしかった」「生まれて初めて来て嬉しかった」等、それぞれの方が感激して喜び深い外出でしたし、今後も思い出の場所へ出掛けて行けるよう支援していきたい。 |

グループホーム 愛の里白寿荘

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------|--|--|------|----------------------------------|
| 65 | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ・電話が自分で出来る方は10円玉を専用の容器に準備して自由に電話できるように定期的に両替をしている。ご家族にもかけたい時にかけられるよう、ご家族に協力・理解を頂き、電話の支援を行っている。 | | |
| 66 | 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | ・訪問者が来たときは、ゆっくりと過ごせる場所を提供できるよう支援している。 | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | |
| 67 | 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | ・身体拘束をしないケアを行うための理解が深まるよう支援している。 | | |
| 68 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | ・夜間以外は施錠せず、安全に自由に過ごせるよう支援している。 | | |
| 69 | 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | ・ご利用者の居場所や状態を把握して安全管理に努めている。併設の事業所の職員の協力も得ている。 | | |
| 70 | 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | ・お一人おひとりの状態に応じた危険回避を工夫している。 | | |
| 71 | 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | ・起こり得る事故等を予測して、事故防止に努めている。 | | |

グループホーム 愛の里白寿荘

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------|---|---|------|----------------------------------|
| 72 | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | ・緊急マニュアルを作成している。 | | 10月の「救命講習」は参加予定 |
| 73 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | ・非常災害マニュアル・緊急時避難回路等を作成している。近隣の住民の方や地区の民生委員さんに災害時の協力をお願いしている。毎年、避難訓練を実施している。 | | |
| 74 | リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている | ・各自に起こり得るリスクについて、ご家族に説明している。 | | ・今後も細かい説明・理解方針の共有が必要である。 |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | |
| 75 | 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | ・状態の変化には注意している。異変があれば主治医・併設の看護師・協力機関の看護師に相談して速やかに対処するようにしている。状態の情報は共有して適切な対応が出来るよう心掛けている。 | | |
| 76 | 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | ・服薬一覧表を作成し、変更があれば作成し直している。薬の内容や容量について常に確認できるようにしている。 | | |
| 77 | 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | ・水分補給や食事の管理を行っている。定期的に便秘に効果がある運動を取り入れ体操を行っている。 | | |

グループホーム 愛の里白寿荘

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|--|--|------|----------------------------------|
| 78 | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | ・力に応じて口腔ケアを行っている。 | | |
| 79 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | ・食事・水分の摂取量を管理している。異常があれば主治医・看護師に相談している。 | | |
| 80 | 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | ・感染症マニュアルを作成して、感染症の予防に取り組んでいる。 | | |
| 81 | 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | ・調理器具は消毒を行い、衛生管理に努めている。食品の賞味期限や保存も安全に注意を行っている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | |
| 82 | 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | ・花や畑作りを行い、親しみが持てるような玄関にしている。 | | |
| 83 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ・その日の天候や入居者の方の状況に応じて、音や光に配慮している。季節感のある花や飾りを取り入れるようにしている。 | | |

グループホーム 愛の里白寿荘

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|--|---|------|----------------------------------|
| 84 | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | ・居室以外にも談話するスペースを設けている。中庭を眺めながら独りになれる場所もある。 | | |
| 85 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ・居室は、ご本人さんご家族と話し合い、居心地よく過ごせるよう工夫している。又、居心地よく過ごせるよう工夫している。又、過ごしやすくなるようアドバイスを行っている。 | | |
| 86 | 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | ・室内の温度管理は、ご利用者の状態を把握して注意して行っている。換気を毎日行い、いやな臭いが発生しないよう配慮している。 | | |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | |
| 87 | 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | ・夜間、高齢者の方々は、トイレの回数が多い為、全居室の隣りにトイレを設置し、安心して自立した生活が送れるよう、配慮している。 | | |
| 88 | わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | ・各自の状態や能力に応じ、居場所やそれぞれができる事を支援している。混乱や不安にすぐ気づけるよう状態を注意して見守っている。 | | |
| 89 | 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | ・手作りの階段・手すりを作り、簡単に出入りできるよう工夫している。畑や花を育て積極的に外の出たくなる環境づくりを行っている。 | | ・施設内での楽しい居場所作りを現在思案している。 |

グループホーム 愛の里白寿荘

| . サービスの成果に関する項目 | | 最も近い選択肢の左欄に をつけてください。 | |
|-----------------|--|-----------------------|--|
| 項 目 | | | |
| 90 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ほぼ全ての利用者の | |
| | | 利用者の2/3くらいの | |
| | | 利用者の1/3くらいの | |
| | | ほとんど掴んでいない | |
| 91 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | 毎日ある | |
| | | 数日に1回程度ある | |
| | | たまにある | |
| | | ほとんどない | |
| 92 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 93 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 94 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 95 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 96 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 97 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ほぼ全ての家族と | |
| | | 家族の2/3くらいと | |
| | | 家族の1/3くらいと | |
| | | ほとんどできていない | |

グループホーム 愛の里白寿荘

| 項 目 | | 最も近い選択肢の左欄に をつけてください。 | |
|-----|---|-----------------------|--|
| 98 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ほぼ毎日のように | |
| | | 数日に1回程度 | |
| | | たまに | |
| | | ほとんどない | |
| 99 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | 大いに増えている | |
| | | 少しずつ増えている | |
| | | あまり増えていない | |
| | | 全くいない | |
| 100 | 職員は、生き生きと働いている | ほぼ全ての職員が | |
| | | 職員の2/3くらいが | |
| | | 職員の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 101 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 102 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての家族等が | |
| | | 家族等の2/3くらいが | |
| | | 家族等の1/3くらいが | |
| | | ほとんどできていない | |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

・入居者の方々がその日、その日の体調や気分により希望する思い・・・「季節を感じ自然と触れ合いたい」「かわいい子供達、又同世代の方々と楽しく接したい」「健康維持の為、安全に散歩や機能訓練を行いたい」「草いじりや畑の世話を楽しみたい」「ひとりになりたい」等と言ったそれぞれの方の自分の思いが自然に叶えられる環境作りに取り組んでいます。専門性や技術はまだまだ向上して行けるよう勉強中ですが、職員のやさしさ・思いやり・やる気、これもアピール出来ることの一つです。今後も入居者の方々やご家族に安心して頂ける生活の場を提供していければと考えています。